

又ウ 日本最大規模を誇る都市緑地空間「見沼田んぼ」の主の子孫。市民に役立つ情報を伝える役。



ゲンキ



パパ



ママ

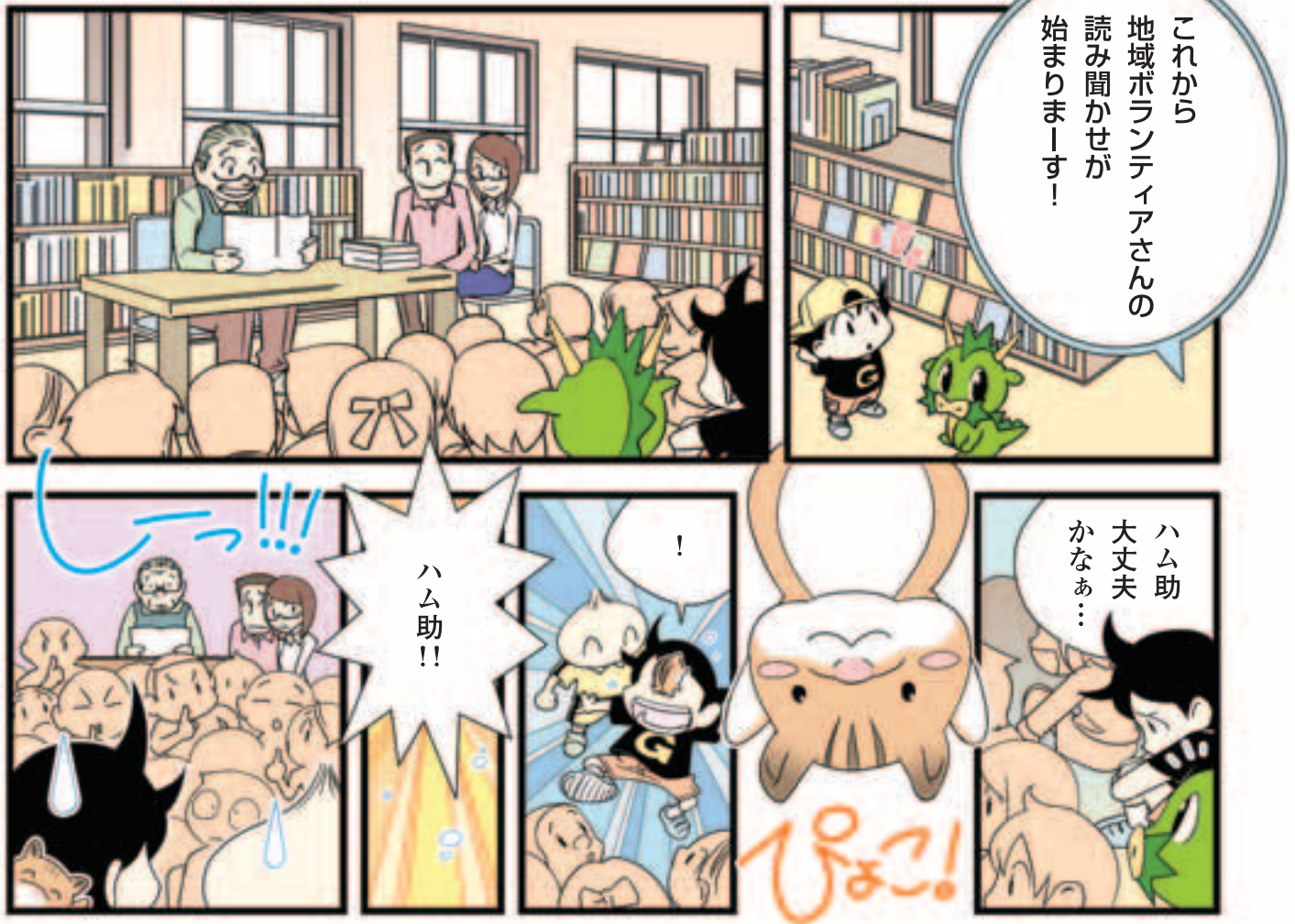


お姉ちゃん



となりのタマオ君

次回の市報さいたまが「つなが竜又ウ」は、6月1日発行となります。



解説

さいたま市の子どもは、日本で一番本が好き！

すべての小・中学校に司書を配置して、学校図書館を活性化しています。

さいたま市は学校図書館司書を全校に配置

「さいたま市の子どもたちは日本で一番本が好き」をキャッチフレーズに掲げるさいたま市では、市立小学校101校、中学校57校すべてに学校図書館司書を配置しています。政令市で全校に司書を配置しているのは、さいたま市と新潟市だけです。学校図書館司書は、司書教諭(図書館担当の先生)の補助役として、学習指導計画に基づいて本の購入や管理からイベントの実施まで行っています。

学校図書館のデータベース化の蔵書数はさいたま市が日本一！

「司書の配置」と併せて「コンピュータを全校に導入」し、司書が蔵書を入力してデータベース化しています。全校分を合わせて約140万冊のデータ化された蔵書数は、日本一の冊数です。検索すれば、どこかの学校に何冊あるか把握でき、週2回の「ネットワーク便」(トラックが運行)で届けてもらうことができます。また、市立図書館から100冊単位で借りることもできます。



学校図書館の運営には、保護者や団体などもボランティアで加わっています。写真:文蔵小学校(南区)

「読解力」もトップクラス！

小さい頃から図書に慣れ親しむことが、学力向上にもつながるといわれている中で、学校図書館の活性化がさまざまな効果を挙げています。

①学校図書館の貸し出し冊数が23万2,324冊増加。

平成18年度:152万2,698冊→19年度:175万5,022冊
(20年3月31日現在)

②月に1度も本を読まない「不読率」が低い。

小学生:全国平均5%→さいたま市3%
中学生:全国平均15%→さいたま市6%
(19年10月調査)

③さいたま市の児童生徒は、全国学力・学習状況調査において「基礎的な知識の問題」だけでなく、読解力を必要とする「活用や応用に関する問題」も全国的に高いレベル。

司書の仕事については、さいたま市教育委員会・学校教育部指導1課(829-1660/直通)またはホームページへ、どうぞ。